

10 区民アンケート調査結果

- (1) 調査対象
16歳以上の区民から無作為抽出した2,000人
- (2) 調査期間
平成24年6月29日～同7月17日
- (3) 有効回収票と有効回収率
有効回収552票、有効回収率27.6%

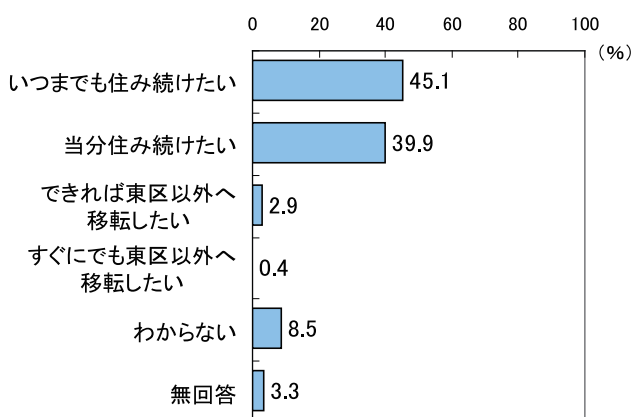
I 今後の居留意向とその理由

(1) 東区での今後の居留意向

～「住み続けたい」が85.0%～

「いつまでも住み続けたい」45.1%、「当分住み続けたい」39.9%と『住み続けたい』と思う人が85.0%を占める。性別からみた特徴としては、女性の半数近くが「いつまでも住み続けたい」と思っており、男性の38.2%を10%近く上回る結果となっており、女性の方が男性に比べ地域や家への愛着が強いようだ。

年代別にみると、年代が高くなるにつれ、定住意向も強くなっている。特に、60歳代以上になると60%以上の人「いつまでも住み続けたい」と答えている。



(2) 東区に住み続けたい理由

～「愛着」「持ち家」「便利」が多い～

「いつまでも住み続けたい」または「当分住み続けたい」と回答した469人に、その理由を聞いた。

「住みなれていて愛着がある」の60.6%が最も多く、これに「持ち家がある」の56.9%と内的要因が上位を占め、「買い物や外食が便利」の52.5%、「交通の便がよい」(38.0%)、「仕事面や家族にとって都合がいい」(31.6%)といった外的要因が続く。また、「災害が少ない」(29.4%)も6位と上位に入っている。

Ⅱ 現状での満足度と今後重視する内容

(1) 35項目全体の結果

満足度では、「公園や緑地が整備されている」が最も多く、「バスや電車などの公共交通機関が利用しやすい」「医療機関や福祉サービスが充実している」が上位にきており、不満度としては、「地元商店街のにぎわい」「雇用の場」「自転車の利用しやすさ」があげられている。「バスや電車などの公共交通機関が利用しやすい」は、満足している方が33.9%に対し、満足していない人も36.4%おり、公共交通の利便性のいい地域と不便な地域が存在していることが調査結果からも読み取れる。

項目ごとに地域の特徴がでており、総体的にみると健軍周辺や県立大学周辺など生活の利便性が高い地域は満足度が高い項目が多く、逆に「託麻東」や「託麻北」など交通、商業、医療機関からやや遠いところは満足度が低い。

重要度では、「バスや電車などの公共交通機関が利用しやすい」（71.7%）が最も高く、自家用車中心からの転換を図る上からも具体的な対応が望まれる。以下「医療機関や福祉サービスが充実している」「高齢者が安心して暮らせる」と安心面の項目が続く。

■『満足度（「満足」と「やや満足」の計）』の上位5項目

- ・「公園や緑地が整備されている」38.8%…（「泉ヶ丘」68.4%、「秋津」68.0%）
- ・「バスや電車などの公共交通機関が利用しやすい」33.9%…（「健軍」65.1%、「月出」64.0%）
- ・「医療機関や福祉サービスが充実している」32.6%…（「月出」64.0%、「桜木東」58.3%）
- ・「自然が守られている」32.1%…（「若葉」52.6%、「秋津」52.0%）
- ・「騒音・振動・悪臭などの公害が少ない」30.6%…（「泉ヶ丘」47.4%、「若葉」47.4%）

■『不満度（「やや不満」と「不満」の計）』の上位5項目

- ・「地元商店街のにぎわい」44.2%…（「秋津」72.0%、「東町」64.2%）
- ・「雇用の場」40.9%…（「若葉」52.6%、「託麻北」52.0%、「桜木」52.0%）
- ・「自転車の利用しやすさ」40.8%…（「山ノ内」64.0%、「託麻南」63.7%）
- ・「バスや電車などの公共交通機関の利用しやすさ」36.4%…（「託麻東」74.2%、「託麻北」68.0%）
- ・「外国人と交流する機会」29.9%…（「桜木」52.0%、「託麻東」41.9%）

■『重要度（「重要である」と「やや重要である」の計）』の上位5項目

- ・「バスや電車などの公共交通機関が利用しやすい」71.7%…（「健軍東」91.0%、「東町」89.3%）
- ・「医療機関や福祉サービスが充実している」68.4%…（「月出」96.0%、「桜木東」91.7%）
- ・「高齢者が安心して暮らせる」68.3%…（「健軍東」90.9%、「月出」88.0%）
- ・「地域の防犯体制が整っている」66.5%…（「月出」84.0%、「桜木東」83.4%）
- ・「騒音・振動・悪臭などの公害が少ない」66.3%…（「月出」80.0%、「秋津」76.0%）

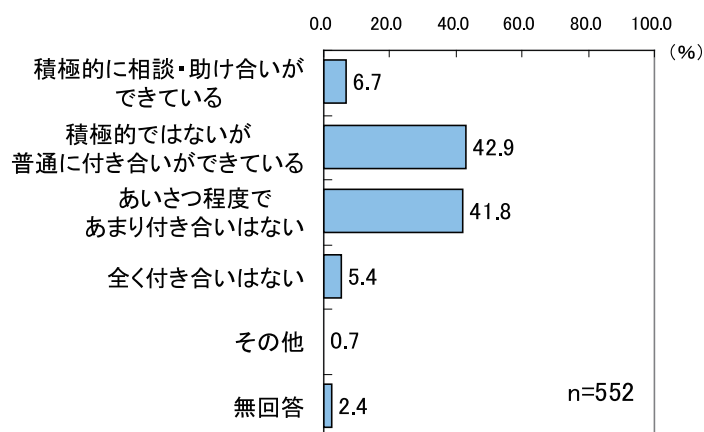
Ⅲ 近所とのつながりと住民参画の現状

（１）「近所とのつながり」の現状

～「普通の付き合い」と「あいさつ程度」で84.7%～

「付き合いができています」と答えた人が約半数の49.6%、これに「あまり付き合いはないがあいさつ程度」という人が41.8%で90%以上の人が何らかの近所とのつながりは持っている。

属性別に見ると、年齢では年代が高くなるにつれて、また居住年数では年数が長くなるにつれて地域でのつながりの割合も高くなっている。

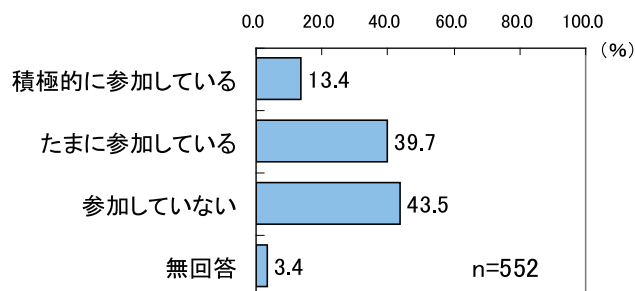


（２）地域活動への参加状況

～「積極的に参加している」は13.4%～

地域活動に参加している人の割合は、「積極的に参加している」は13.4%、「たまに参加している」の39.7%をあわせ53.1%と近所の付き合いとほぼ同じである。

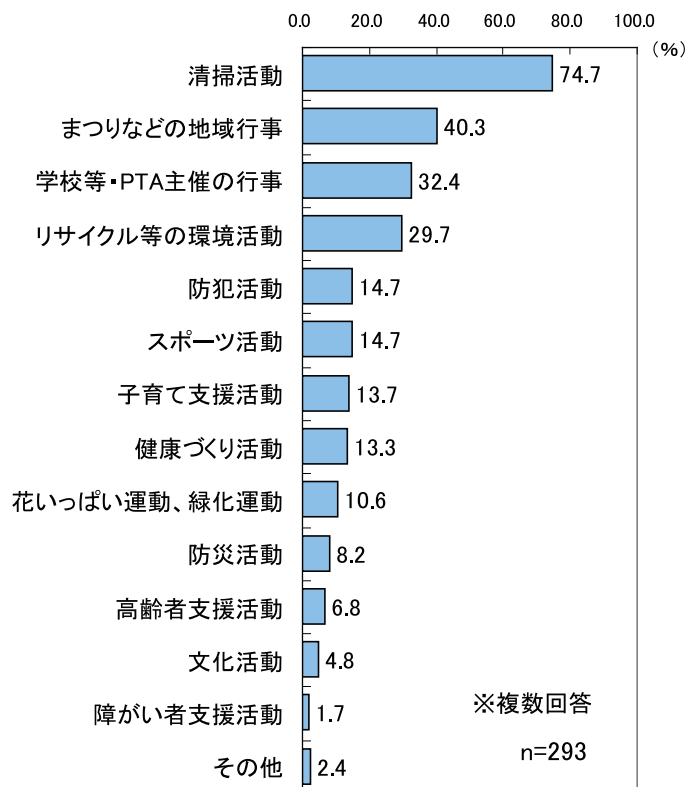
年代別では、小・中学生の子どもを持つ、40代が64.7%と一番多く、あとは年代が高くなるにつれ参加率も高くなっている。40代の参加率が高い要因としては、学校・PTA関連行事への参加があげられる。



(3) 参加している地域活動の内容

～「清掃活動」「まつり」「学校行事」「環境活動」が多い～

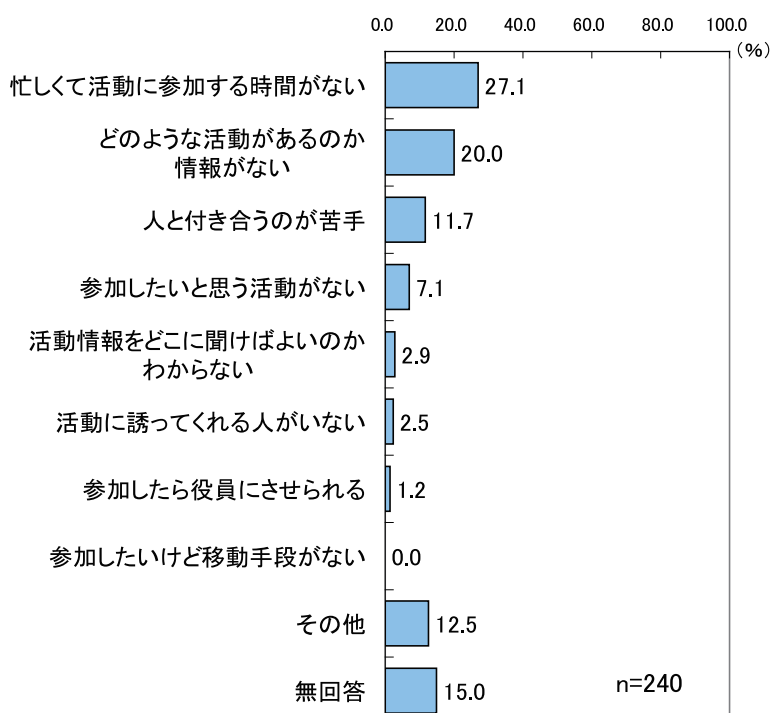
「清掃活動」の74.7%が最も多く、これに「まつりなどの地域行事」の40.3%が続く。以下、回答割合が高い方から、「学校等・PTA主催の行事」（32.4%）、「リサイクル等の環境活動」（29.7%）、「防犯活動」（14.7%）の順となっている。



(4) 地域活動に参加していない理由

～「時間がない」「情報がない」が多い～

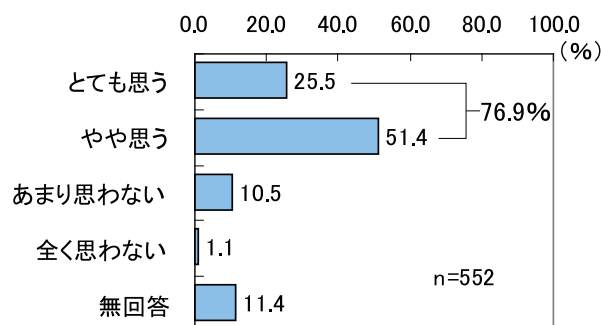
地域活動に「参加していない」理由としては、「忙しくて活動に参加する時間がない」の27.1%が最も多く、これに「どのような活動があるのか情報がない」の20.0%が続く。以下、回答割合が高い方から、「人と付き合うのが苦手」（11.7%）、「参加したいと思う活動がない」（7.1%）の順となっている。



(5) 地域活動に対する重視度

～76.9%が重要だと思う～

地域活動の重要度については、「とても思う」の25.5%、「やや思う」51.4%と合わせて76.9%の人が重要だと思っている。特に29歳以下の年代では、実際に参加している人が30.6%なのに対して、重要度については、「とても思う」32.6%、「やや思う」49.5%と80%を超える人が地域活動が重要だと思っており、この年代が参加できる、参加しやすい仕組みづくりが課題である。

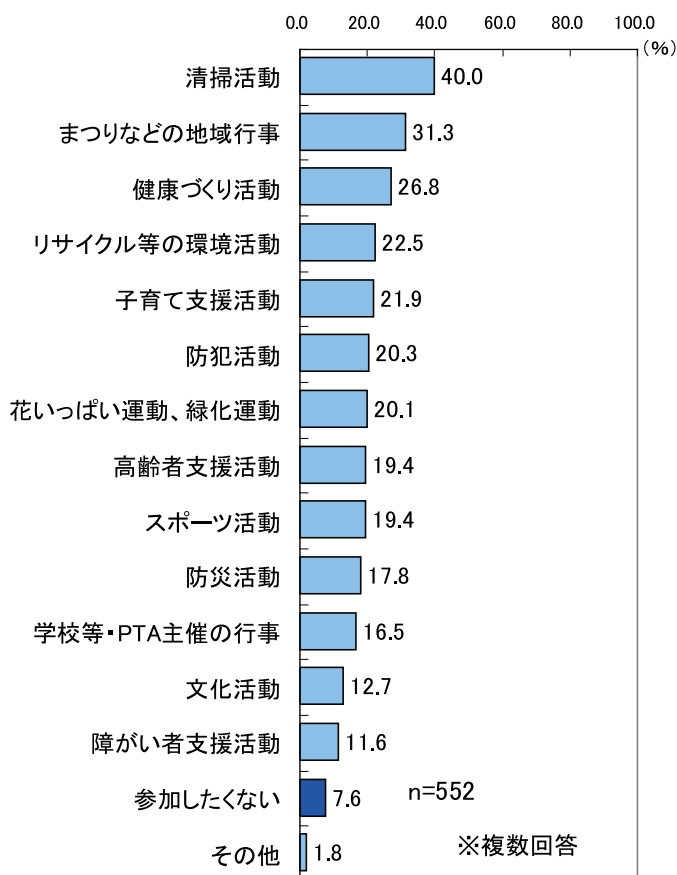


(6) 今後参加しようと思う活動

～「清掃活動」「まつり」「健康づくり」「環境活動」が多い～

今後参加しようと思う活動では、地域一体となって実施している「清掃活動」40.0%や「まつりなどの地域行事」31.3%が続き、「健康づくり活動」(26.8%)、「リサイクル等の環境活動」(22.5%)、「子育て支援活動」(21.9%)、「防犯活動」(20.3%)の順となっている。

また、「参加したくない」は7.6%に止まっている。



Ⅳ 東区のイメージと将来像のキーワード等

(1)現在の東区のイメージ

～江津湖などの自然や公園に恵まれた文教地区の雰囲気が漂う住宅地のイメージ～

東区のイメージとしては、「住宅地」の144件が最も多く、これに市民のオアシス「江津湖」の94件が続く。以下、「文教地区」（46件）、「自然」（26件）、「自衛隊」（21件）、「動植物園」（16件）、「運動公園」（15件）の順となっている。

多くの人々が、江津湖などの自然に恵まれた文教地区の雰囲気が漂う住宅地のイメージを持っていることがうかがえる。

（上位10項目）

		件数
1	住宅地	144件
2	江津湖	94件
3	文教地区	46件
4	自然	26件
5	自衛隊	21件
6	動植物園	16件
7	運動公園	15件
8	病院が充実している（日赤病院など）	14件
9	交通の便がいい（市電・東バイパスなど）	11件
	郊外	11件
10	子どもが多い	9件

(2) 東区の宝

～江津湖など水に関わる記述が圧倒的に多い～

東区の宝としては、「江津湖」が96件と圧倒的に多く、これに「水」の19件、「健軍神社」(14件)、「動植物園」(12件)、「運動公園」(11件)、「横井小楠」(7件)の順となっている。江津湖など水に関わる記述が多く、これに次いで歴史や公園に関わる記述が比較的多くなっている。

■「将来に残したい、伝えたい」と思う東区の宝

	件数
1 江津湖	96 件
2 水(水源、湧水、美しい水、地下水、きれいな水を含む)	19 件
3 健軍神社 (神社を含む)	14 件
4 動植物園 (動物園を含む)	12 件
5 運動公園 (パークドーム、KKウイング、ロアッソ熊本を含む)	11 件
6 横井小楠 (横井小楠記念館、四時軒を含む)	7 件

(3) 東区の将来像についてのキーワード

～優先度が高いのは「安全・安心」「便利さ」「自然の豊かさ」「快適さ」～

「安全・安心(安らぎ)」が1番目30.4%、2番目18.1%、3番目10.0%と3番目までに58.5%の方があげている。続いて「便利さ」(31.1%)と「自然の豊かさ」(29.1%)が拮抗しており、以下、「快適さ(気持ちよさ)」(26.3%)、「活力・賑わい」(21.8%)、「学び・育てる」(19.5%)、「ふれあい・助け合い」(17.7%)、「やさしさ・思いやり」(12.0%)、「心の豊かさ」(11.0%)、「発展・躍進」(10.0%)の順となっている。

■思い描く東区の将来像

